

式 辞

先ほど、卒業証書を授与された三百六十名の卒業生の皆さん、ご卒業おめでとう。

新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、昨年に続き、規模を縮小して、また、会場を分散しての卒業証書授与式となりましたが、これまでの数多くの努力が実を結び、皆さんはここに晴れの日を迎えられました。学園及び教職員一同を代表して心からお祝い申し上げます。

さて、明誠学院高校の卒業生とられました皆さん、皆さんは、百年にならんとする、学校法人真備学園の歴史の中でも極めて印象を残す卒業生とられました。

思い出していただけますか？三年前の春の日を…。

皆さんが、新しい制服に身を包んで、桜咲く校門をくぐられたのは三年前の四月八日の事で、まだ平成の世でありました。皆さんは、平成の高校生として本校に入学されたのでした。ところが、入学して間もない一ヶ月後の五月一日には元号が「平成」から「令和」に変わり、皆さんもそれに合わせて令和の高校生とられました。以来、およそ三年の年月を経た本日、今、ここに令和初の卒業生として、思い出多き学び舎を巣立っていかれます。卒業生名簿や同窓会名簿には、令和四年三月卒業と記されていくこととなります。

そんな皆さんに、昨日までは「教師」つまり「指導者」として接していた私たち教職員ですが、これからは人生の先輩として接していくこととなります。それは、私たちにとって、大きな転換であると同時に、待ち望んだ大きな喜びでもあります。

大学、専門学校、公務員、一般企業などなど、進む道はそれぞれ互いに違っていても、皆さんはもう高校生ではなくなり、一気に大人の道を歩むこととなります。新しい環境や出会い、そしてまだ見ぬステージに心が躍る時ですが、一方、これまで、色んな面で手厚く保護してくれていた様々のものが取り除かれていくのも事実です。好むと好まざるとにかかわらず、「自己責任」という言葉に包まれていくようになります。これまでの「まだ、大人じゃないから…」「まだ高校生だもん…許して」という言葉は、これからは使えなくなります。

そして、逆に「もう高校生じゃないんだよ」「何言ってるの！もう大人なんだから」という言葉が待ち受けています。それはお父さんやお母さんも通ってこられた道筋でもあります。

社会に出て、大人として歩んでいくにあたっては自分自身の中にしっかりと「生きていく方針を持つこと」が大切です。「社会と関わっていく気構え」を併せて持つことも重要です。私自身の話で恐縮ですが、私自身は学校で学習したことが、その後の人生の指針となりました。

それが偶然であったのか、必然であったのか、今まだ結論を出し得ていませんが、学校で学んだ事が社会人としての考え方、思考の基本となり、人間としての行動の規範となりました。

もう五十年以上も前の事になります。

中学校二年生の時、国語の時間に「義を見てせざるは勇無きなり」という言葉を漢文で習いました。半世紀以上が経過

しましたが、今でもその時の授業の様子をはつきりと覚えて
います。この言葉に心が震えたのを鮮明に思い出します。

「義」とは「正義」や「仁義」という熟語でご存じでし
ょう。源義経など人名に使われることも数多くあり、「大義名
分」や「主義主張」などの四字熟語で用いられるケースもあ
ります。「義」とは儒教における「五常」、つまり「仁・義・
礼・智・信」、の一つで、人が常に守るべき道徳の一つとされ
ています。

人生は、時に大海原にたとえられ、ある時は、荒野（こう
や）にたとえられます。

いずれにしろ、行く手は見えていません。

人生、楽しみばかりならいいのですが、むしろ、苦労や困
難が待ち受けている事のほうが多いかもしれません。

そんな時「自分は何を為すべきか」「どうあるべきか」、
自分はどう生きるべきか」など、迷ったり、判断に苦しんだ時
には、この言葉を思い出してください。もう一度言います。

「義を見てせざるは勇なきなり」

近代オリンピックを提唱した、フランスのクーベルタン男
爵も「人生は戦うが故に美しい」という言葉を残しています。

「長いものに巻かれる」のではなく、「正義」「大義」「信
義」を重んじる人間になってください。

保護者の皆様方に一言申し上げます。

本日のお子様のご卒業、誠におめでとうございます。改め
て、心からお祝い申し上げます。お子様の出生からここまで
の日々を思い浮かべられますと、万感の思いがおりになる

ことでしょうか。皆様方の今日までのご苦労を思い浮かべると、
同じように「子育て」に腐心したものととして、感慨、胸に迫
るものがございます。特にこの二年有余のコロナによる苦し
みはまだ渦中にあり、私たちの願いとは裏腹に、まだしばら
く続くようであります。

しかし、そのような中にあつてもお子様は確実に成長され
ました。頼もしくなりました。これからの更なる成長にご
期待されて宜しいかと思えます。まだ、少しの時間の経過と
周辺の皆さん、とりわけ保護者さまの助けが必要であるか
とは思いますが、きっとやってくれるはずです。更に成長し
てくれるはずです。

卒業生の皆さんの一層のご成長とご活躍、ご家族の皆様方
のご健康とご多幸、そして、一日も早いコロナの収束を祈念
して、令和三年度卒業式の式辞と致します。

君らなお 学びゆくべし この国の

未来のために 明日のために

令和四年三月一日

明誠学院高等学校

校長 小池 仁